

# 東北地方 1 か月予報

( 7月27日から8月26日までの天候見通し )

平成14年7月26日  
仙台管区气象台発表

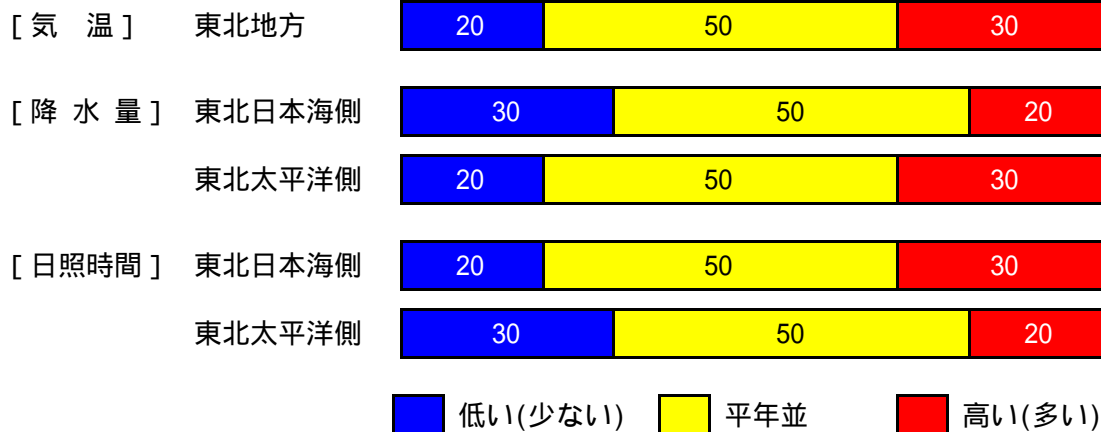
## < 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

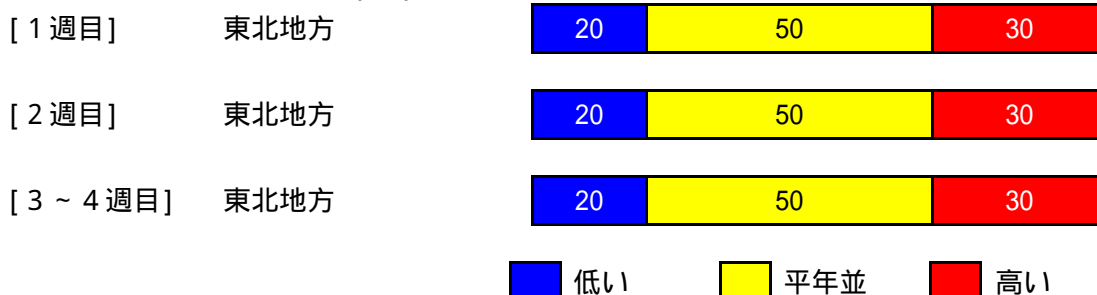
太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多いでしょう。気圧の谷や寒気の影響で曇りや雷雨となる時期もある見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。  
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年並の見込みです。

## < 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >



## < 気温経過の各階級の確率(%) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月 : 7月27日(土)～ 8月26日(月)  
1 週目 : 7月27日(土)～ 8月 2日(金)  
2 週目 : 8月 3日(土)～ 8月 9日(金)  
3 ～ 4 週目 : 8月10日(土)～ 8月23日(金)

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は8月2日  
3 か月予報 : 8月20日(火) 14時00分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう１か月の平均気温，降水量，日照時間と１週目，２週目，３～４週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ( )		
				１週目	２週目	３～４週目
大船渡	23.1	164.8	166.8	23.2	23.4	23.1
新庄	24.1	160.4	183.5	24.4	24.4	24.0
若松	25.0	127.6	204.2	25.3	25.2	24.9
深浦	23.3	152.2	189.1	23.4	23.5	23.2
青森	23.2	123.4	193.7	23.4	23.6	23.1
むつ	21.8	125.0	157.8	21.9	22.2	21.7
八戸	22.5	127.1	179.3	22.7	22.9	22.4
秋田	24.7	168.4	202.4	24.8	24.9	24.7
盛岡	23.4	163.3	163.1	23.8	23.7	23.3
宮古	22.3	155.1	170.4	22.3	22.5	22.3
酒田	25.1	161.8	217.0	25.3	25.3	25.1
山形	24.9	135.7	188.6	25.3	25.2	24.7
仙台	24.2	153.2	158.6	24.3	24.5	24.1
石巻	23.5	110.5	180.8	23.4	23.7	23.6
福島	25.4	132.1	163.2	25.7	25.7	25.3
白河	23.4	201.4	157.8	23.7	23.7	23.3
小名浜	23.8	118.5	196.8	23.4	23.8	24.1

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.6	75～122	89～110
東北日本海側	-0.5～+0.5	78～112	91～113
東北太平洋側	-0.4～+0.6	68～126	88～112

（３）この予報期間の１週目，２週目，３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
東北地方	-0.5～+1.2	-0.8～+1.1	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+1.1	-0.9～+1.1	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.5～+1.3	-0.6～+1.3	-0.5～+0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 7 月 26 日 仙台管区气象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(7 月 27 日～8 月 26 日)：

太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多いでしょう。気圧の谷や寒気の影響で曇りや雷雨となる時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目(7 月 27 日～8 月 2 日)：

高気圧に覆われおおむね晴れの日が続くでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(8 月 3 日～8 月 9 日)：

太平洋高気圧に覆われ平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(8 月 10 日～8 月 23 日)：

太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多いでしょう。気圧の谷や寒気の影響で曇りや雷雨となる時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

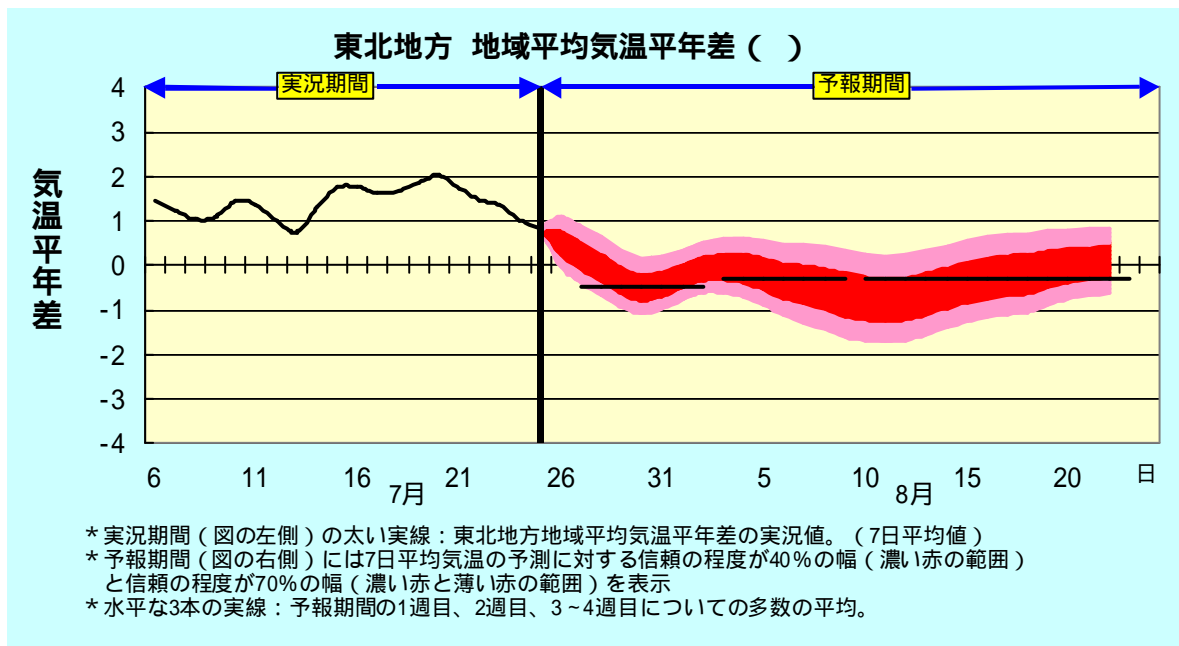
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	16.5 日	4.0 日	4.2 日	8.3 日
東北太平洋側	14.6 日	3.7 日	3.9 日	7.0 日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

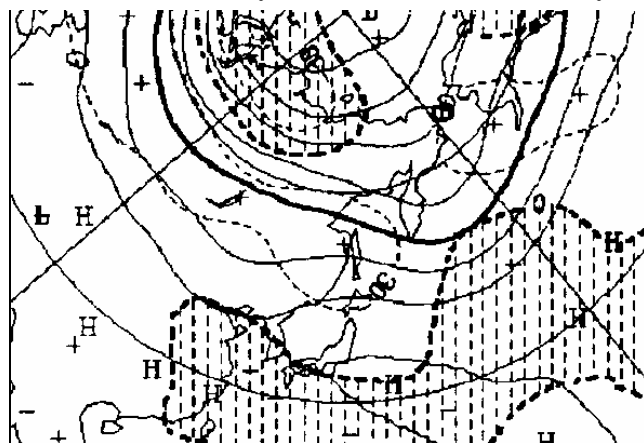
数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも「平年並」を予測している。

予報は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

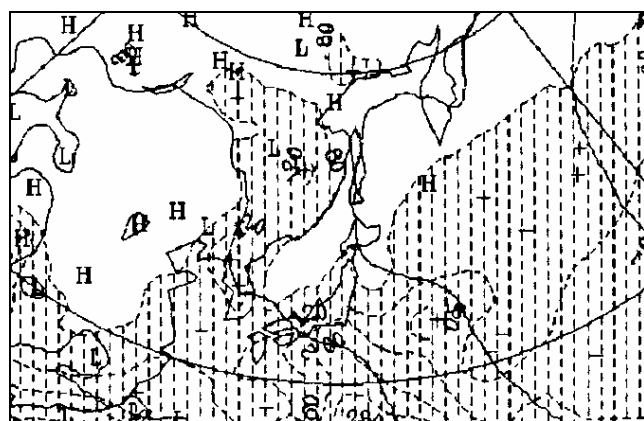


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、太平洋高気圧の本州付近への張り出しは平年よりやや強い。また、極東高緯度帯でも正偏差が広がる。日本の南海上から中国大陆東部にかけては負偏差。

週別（図略）では、1 週目は太平洋高気圧の日本付近への張り出しは強く、北日本から西日本にかけて正偏差。2 週目は、オホーツク海に気圧の尾根があり、北日本から東日本にかけては正偏差。3～4 週目は月平均とほぼ同様。



月平均の地上気圧と降水量

#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、北日本からオホーツク海にかけて平年より気圧が高く予想されている。本州付近は弱い降水域に覆われている。

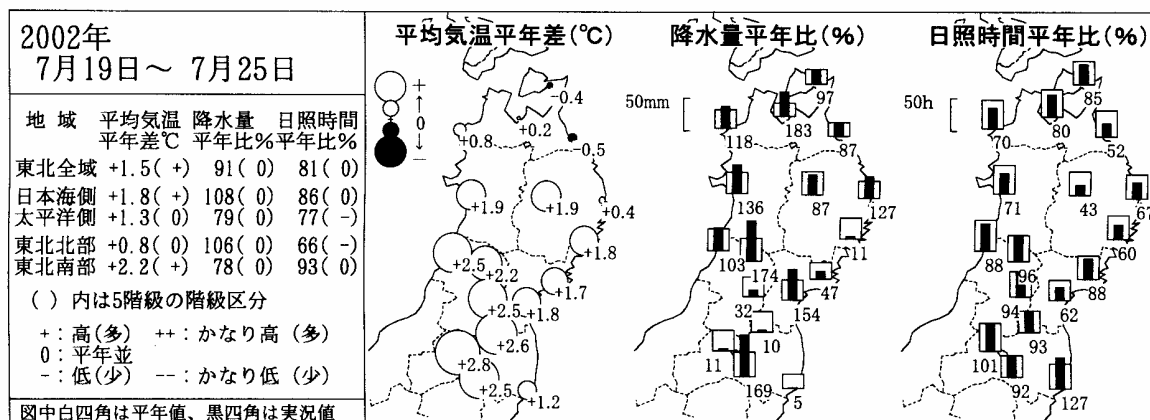
週別（図略）では、1 週目は日本付近に高気圧が張り出す。2 週目以降は、太平洋高気圧はやや北に偏って張り出す。1 週目、2 週目の降水域は関東以南。3～4 週目の降水域は月平均とほぼ同様。

### 4. 最近 1 週間（7 月 19 日～7 月 25 日）の天候の経過

期間のはじめは、太平洋高気圧の縁辺を回って暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり、各地で雷雨となった。その後は、前線や湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日もあったが、次第に晴れの日が多くなった。

なお、東北南部は 7 月 23 日頃、東北部は 7 月 25 日頃に梅雨明けしたとみられる。（ただし、この梅雨明けの時期は暫定値であり、後日検証により確定されます。）

平均気温は、東北部で平年差+0.8 と平年並、東北南部で平年差+2.2 と高かった。降水量は、東北地方で平年比91%と平年並。日照時間は、東北部で平年比66%と少なく、東北南部で平年比93%と平年並だった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）